

第31回東北カーリング選手権大会

(第35回 日本カーリング選手権大会東北ブロック代表選考会)

審判長事前通知

平成29年12月
大会審判長 相馬 聡

1. 大会競技規則について

本大会は（公社）日本カーリング協会競技規則 2015年1月版（青色表紙）、および本大会が定める規則によって行います。

2. ユニフォームについて

（公社）日本カーリング協会の「ユニフォーム規定」《2017年9月改定～JCA競技委員会～》に基づくユニフォームを着用することとします。（明暗2種類を準備する必要は無いが、統一されていること）

3. ラインナップについて

① オリジナルラインナップカード

チームミーティング終了後、速やかに審判長に提出して下さい。

② 選手交代用ラインナップカード（大会本部にも準備）

オリジナルラインナップに記載されている投球順等を変更する場合は、試合毎に試合開始の40分前までに提出して下さい。（次の試合はオリジナルに戻ります）
試合中の変更については、公式記録表での変更受け付けとします。

4. 競技方法について

① 試合は男女とも予選リーグと、予選上位チームによる決勝ラウンドで行います。

② 男子の予選は5チーム2ブロック、女子は4チーム2ブロックで実施します。

③ 決勝トーナメントは、男女とも予選各ブロックの上位2チームによる準決勝、および準決勝の勝者による決勝戦と敗者による3位決定戦を行います。

④ 予選順位は勝数順とし、同数の場合は直接対戦で決定します。それでも決められない場合（三つ巴等）は **DSCの結果** で決定し、タイブレークは実施しません。

⑤ 予選は8エンドで、決勝トーナメントは10エンドです。

終了時同点の場合はエキストラエンドで勝敗を決します。

なお、8エンドの試合は最低6エンド、決勝トーナメントは8エンドを終了する必要があります。

5. ストーンの割り当てについて

① 予選では男女ともタイムテーブルで上段のチームが赤色ストーンを使用して、先練習です。

② 準決勝は DSC の結果で先練習・後練習 or ストーンの色を選択権が決まります。

③ 決勝戦・3位決定戦が予選同ブロックの場合は予選上位チームが第1エンドの先攻 or 後攻を選択し、先攻チームがストーンの色を選択して下さい。

（後攻のチームが先練習です）

6. ブラシ（パッド）について

WCF 公認パッドを使用すること。

7. 試合前練習について

- ① 男女とも全ての試合において試合開始の25分前より実施します。
- ② 予選では、男女とも先に赤ストーンのチームが7分間の練習を行ないます
- ③ 準決勝では DSC の結果で先練習・後練習 or ストーンの色の選択権が決まります
- ④ 決勝戦・3位決定戦で予選同ブロックの場合は後攻チームが先に7分間の練習を行います。

8. LSD・DSC について

- ① 予選および準決勝（決勝戦・3位決定戦が他ブロック対戦の場合）については、試合前練習後に LSD を行って第1エンドの先攻・後攻を決定します。
- ② LSD はチームの代表2名が1投ずつ行い、先に時計回りから投球して下さい。2投の合計距離の短いチームが第1エンドの先攻・後攻を選択する権利を有します。
- ③ 男女とも予選における LSD の最低投球数は、各選手2投とします。
補欠が LSD を投球した場合は、他の一人の選手の投球に通算されます。
- ④ 最低投球数やターンに違反があった場合は 185.4 cm と記録されます。
- ⑤ DSC については一番悪い1投を除いた平均とします。

9. 計時について

- ① 予選8エンドは30分、決勝トーナメントは38分です。
- ② 決勝トーナメントの試合では5エンド終了後に5分間のハーフタイムがあり、その時間内に選手はコーチと話し合うことができます。終了1分前を通知しますので、その後はいつ試合を再開しても構いませんが、5分間が経過した場合は審判が注意することもあります。
- ② エキストラエンドが必要な場合、シンキングタイムは1エンド毎に4分30秒です。

10. チームタイムアウトについて

- ① 各チームは全ての試合で1回、エキストラエンドでは各エンド毎に1回、60秒のタイムアウトを取ることができます。
- ② タイムアウトをコールするときは、両手で「T」の文字を作って計時審判員にわかるように合図して下さい。計時審判員が確認するとタイムアウト60秒+移動時間90秒の2分30秒時計が止まります。また、選手と接触できる人はコーチ席にいる1名のみです。
タイムアウト終了10秒前を審判員が通知しますので、終了したら速やかにシートから退出して下さい。
- ③ 選手と話し合う位置は、バックボード後方ですが、Aシートはサイドの観覧席からの話し合いも良しとします。

11. 選手の位置について

試合中の選手の位置については、競技規則R4に基づくものとします。

12. 計測について

各シート毎に審判の配置は困難なため、計測は選手の皆さんでお願いします。

13. 得点について

- ① 選手の皆さんが得点をボードに掲示願います。(合計の掲示は不要です)
- ② 試合が終了した時点で、両チームのスキップは公式記録票に記載されている得点等について間違いがないか確認してサインをして下さい。

14. ストーンについて

本大会はホッグラインセンサー付ストーンを使用します。センサーのスイッチを入れ忘れた場合は違反ストーン（ホッグライン違反）として取り除かれますが、センサーに異常（不点灯や赤緑の交互点滅）がある場合は投球前に審判員を呼んで確認して下さい。この確認をしないで投球し、相手チームからアピールがあった場合は、センサーに異常があっても違反ストーンとみなして取り除くこととなります。

15. アイスについて

選手は用具、手あるいは体でアイスにダメージを与えてはなりません。アイスメイクは基本的に2試合毎にモータースクレープを実施し、その他の試合間はペプルとニッパーとしますが、アイスマンの判断により作業内容等を変更する場合があります。また、試合中でも先に試合が終了したシートのアイスメイクを行うことがありますので、予めご了承願います。

16. コーチ席について

オリジナルラインナップカードに記載された選手とコーチが座ることができます。

17. 整理整頓について

用具やウェア、飲み物等について、シート周辺では常に整理整頓を心掛けて下さい。

18. その他

- ① 試合の進行状況によりタイムテーブルの時間は変更になることがあります。変更になる場合は対象チームへ通知しますので、十分な余裕を持って集合して下さい。
- ② 競技規則、およびこの審判長事前通知に記載されていない事項が発生した場合は、その都度審判長が判断し対応します。